

(報告) ユーザー理解活動の取組状況

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

2020年9月15日

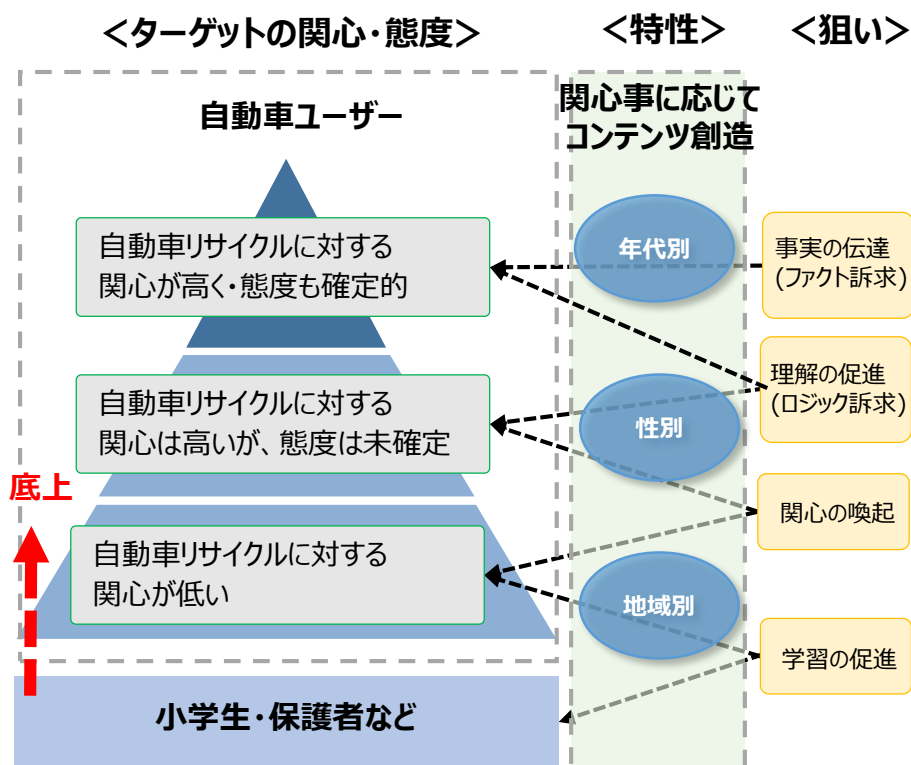
《目次》

1． 2020年度ユーザー理解活動の計画	・・・ P2
2． ユーザーの関心事に応じたコンテンツ創り	・・・ P3
3． 公式ウェブサイトを通じて、タイムリーに活動状況を発信	・・・ P5
4． 全国の地域イベントでの取組み	・・・ P6
5． 小学生とその保護者を対象とした現場見学会	・・・ P7
6． 若者の関心を高める取組み	・・・ P8
7． P R 動画を使った関心を得る取組み	・・・ P9
8． 活動費の執行状況(第 1 Q)	・・・ P10

1. 2020年度ユーザー理解活動の計画

ユーザーにとって利便性が高く、コスト効率が良い手法を用いて、質の高い情報を提供していくことにより、ユーザーを含む国民一人ひとりの認知を広げ、そして関心を高める取組みを推進する。
また、地方ユーザーを意識し、“点”での取組みを“面”へと活動の幅を広げ、自動車リサイクルに関する情報の露出を広げる取組みにより、ユーザーを含む国民一人ひとりの認知・関心を高める取組みを推進する。

(1) ユーザーの関心・態度に合わせた取組み



(2) 点の取組みから面の取組みに拡大



*個別施策の効果をより高めるために、新聞、テレビ、定期刊行物、SNSなどのメディアを組み合わせる広告活動。

(2) 日経ウーマンの読者に向けた情報発信

8/6、日経ウーマン（発行：株式会社日経BP）の読者である女性に向けて情報発信を行った。（記事は、[こちら](#)）

元宝塚歌劇団
星組トップスター
紅ゆずるさんと学ぶ

自動車リサイクル

昨年、宝塚歌劇団を退団し女優として新たなスタートを切った紅ゆずるさん。



CHECK IT!

紅さん出演博多座時代劇専門チャンネル「華麗なる宝塚歌劇の世界 Season2」ナビゲーター兼出演
8/17 22時～「紅ゆずるのディナーショー〜The Birth〜」大坂12/27、東京12/28、横浜1/5劇場
予定。紅ゆずるオフィシャルファンクラブ「紅カントリー」も入会受付中!

自動車リサイクルの仕組みは循環型社会の実現に貢献
自動車業界も、何十年も前から努力と工夫を重ね、絶え間なく循環型社会の実現に向けて自動車リサイクルに取り組まれている。紅さんは、普段どのようなリサイクルに取り組まれているのか？
紅 宝塚時代が空き缶やペットボトルの分別を指導したり、仕事で使った私服などをリサイクルに出したりと、身近なところでリサイクルをしています。今日、お話を伺うまで自動車リサイクルのことは詳しく知りませんでした。そのほとんどをリサイクルでしているのと同じくらい、大変驚きました。自動車業界は、主に鉄・鋼・アルミなどからできていて、まさに資源の塊なんです。使用を終えた自動車を適正に処理し、回収した再生資源を利用していく取り組みは循環型社会の実現に貢献しているのです。

「共創」を軸に、変化していく勇気を持つ
自動車リサイクルの仕組みは、自動車ユーザーや自動車メーカーをはじめ、自動車に関わる全ての人が主体的に貢献を果した上で成り立ちます。共創の理念がはたき、回収した再生資源を利用していく取り組みは循環型社会の実現に貢献しているのです。宝塚時代には、トップスターから初舞台生まで、力を合わせていくという舞台作りがありました。はい。ただ、循環型社会の実現に向けた取り組みは、人ではできないんです。自動車ユーザーや自動車メーカー、自動車に関わる全ての人が「共創」の理念の下で主体的に役割を果たしていくことが大切です。例えば自動車を購入する時にリサイクル料金を支払うことで、使用を終えた自動車を販売店や整備店に引き渡すことで、自動車ユーザーの重要な役割になります。各々が主体的に役割を果たすことで使用を終えた自動車のほとんどがリサイクルされることにつながるのです。

く文化があります。一人ひとりがはたき合っている。宝塚の世界には、演出家や舞台スタッフの方や、さらには狂言のファンの方など、多様な立場の人たちの存在が欠かせません。こうした環境で育ったことは、私の基盤となっていると思います。誰もがそれぞれの立場で主体的に役割を果たすことで、自動車リサイクルと同じですね。100年に一度の大変革時代を迎える自動車業界の中で、自動車リサイクルも重要な役割を果たされています。宝塚から羽ばたき、紅さん自身もこれから変革期を迎えますが、今後の活躍をどうお考えですか？
紅 宝塚時代は、自分しかできないものを追求していましたが、退団後も、「他の女優さんとは何か違う」と思ったりもする存在になりたいです。それから、何事も新たな気持ちで臨みたいと思います。「宝塚の元トップスター」という機軸はあります。輝き続けるためには、変化を恐れないことが大事。今回の自動車リサイクルの取り組みを知ることで、何事もチャレンジしていかねばならないことを改めて実感しました。まずは行動しなければならぬですね。宝塚時代のファンの方には違和感があるかもしれませんが、早く切り替えるために「スカイ」を「楽します」(笑)。「スカイ」を「楽します」に変えて、進んでいきたいです。

覚えておきたい!

役割を明確化し、皆の主体的な行動・連携により循環型社会の実現を進める自動車リサイクル

使用を終えた自動車を環境に負荷をかけることなく、資源として無駄なくリサイクルすることは、地球に住む私たちの大切な役割。日本の自動車リサイクルは、自動車ユーザーである私たちをはじめ、製造事業者である自動車メーカー、販売店・整備店などの引取事業者、解体事業者、破砕事業者などの役割を明確化し、廃棄物の削減と資源の有効利用を目指している。「共創」の理念の下に、それぞれが主体的に行動・連携し、循環型社会・サステナブルな社会の実現に寄与。この「共創」モデルと呼ばれ、世界的にも注目を集め、ユニークな仕組みと評価されている。

CHECK IT!

詳しくは、自動車リサイクル促進センターのWebサイトへ。



「共創」と「変化」が輝き続けるカギに

宝塚マニアに人気の喫茶店「珈琲館 紅庵舎」で、宝塚ファン歴30年の日経BP執行役員・高柳正盛が輝き続けるコツに迫った。

変化を恐れないことが大事。新たな気持ちで進んでいきたいです。

国内ではSDG（持続可能な開発目標）が目ざされていきます。日本の基幹産業である自動車業界においても、それ以前から循環型社会の実現に取り組まれ、その中でも自動車リサイクルはジャパンモデルと世界から評価されています。現代電気自動車などの次世代自動車の普及や自動運転技術の向上など、100年に一度の大変革時代を迎え、その中でも絶えず進化するに向けた努力が続けられています。今回は、時代とともに変化し、100年以上続く宝塚歌劇団の元トップスター・紅ゆずるさんにお話を伺い、輝き続ける共通の鍵を探ります。

引き継がれる伝統と新しい価値が宝塚の真骨頂
紅さんは昨年10月に宝塚歌劇団・星組トップスターから女優に転身しました。まずは現在の心算をお聞かせください。
紅さん 以下、敬称略。仕事や生活を考えるのは、誰でも不安を感じるものだと思います。私も宝塚時代、退団した先輩方から「生活の道に迷っている」という話をよく聞いていました。宝塚に退団した方、その気持ちも実感していますが、一方で、新しいことに挑戦する毎日があるのもあるんです。たぶんそれは、宝塚でもやり

たいことはやり切ったという自信があるからだと思います。紅さんご自身も演者として長いキャリアをお持ちですが、所属していた宝塚歌劇団は100年以上の歴史を誇ります。これはどうも誇りにしている理由は、何となく思いませんか？
紅 宝塚は、愛憎のない厳しい世界ですが、それを共有したことでより仲間が絆が深まり、家族のように育ちます。その絆が引き継がれているんです。退団後、驚いたのは、私は違う時代を生きた先輩方と同じ感覚で語り合えること、宝塚の歴史はつなげていくんだと感じました。

一方で、トップスターが定期的に変わることが、いい循環を生んでいるように見えます。紅トシがかわるということ、ひとつの時代が終わると、新しい時代が始まるという、この節目も新しいカギがあると思います。常に進化していくから、続いていくのです。

紅ゆずるさん
Kurenei Yuzuru

2002年に宝塚歌劇団に第88期生として入団。初舞台を飾り、その後星組に配属され、2016年星組トップスターに就任。2019年10月「QDD OF STARS-豪華版-」(Eclair Brilliant/エクレールブリアン)で宝塚劇場千秋楽をもって退団。これまでに俳優から女優として新たなスタートを切る。今後の映画や舞台など様々な作品に挑戦していく。

撮影協力/演劇館 紅庵舎
ヘアメイク/KUBOKI(Three PEACE)
スタイリスト/菊池志真

3. 公式ウェブサイトを通じて、タイムリーに活動状況を発信

JARCの公式ウェブページで発信する活動状況の情報の質を日々高め、これらをタイムリーに発信している。



The screenshot shows the JARC website with a header in Japanese and English. A large blue dashed box highlights a news item titled "令和2年7月豪雨により被害を受けられた皆さまへ" (Dear everyone affected by the heavy rain in July 2020). A blue arrow points from this box to a detailed text box on the right. Below the main news, there are sections for "お知らせ" (Notice), "博士の日記" (Dr. Diary), and "動画で知る自動車リサイクル" (Learn about car recycling through videos). A blue arrow points from the "お知らせ" section to a detailed text box on the right. At the bottom, there are links to "自動車リサイクルデータBook", "クルマのリサイクル作品コンクール", and "ESG投資エンゲージメント". A blue arrow points from the "自動車リサイクルデータBook" link to a detailed text box on the right.

クリック

令和2年7月豪雨に関連して必要とされる情報を取りまとめ掲示。

令和2年7月豪雨に関するお知らせ（被災車両に関する情報）

重要なお知らせ 2020.07.17

令和2年7月豪雨により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。
当該災害によって、広範囲にわたり甚大な被害が生じており、これに伴い多数の使用済自動車が発生しているところで、
本財団は、自動車リサイクルの関係者と連携を図りながら、被災した使用済自動車の迅速かつ適正な処理に協力してまいります。

被災車両に関するお知らせ

1. 被災車両に関するよくある質問（自動車リサイクルシステムのページ）
2. 被災車両を扱う事業者の皆さま（自動車リサイクルシステムのページ）
3. 各官庁等からの連絡事項（自動車リサイクルシステムのページ）



自動車リサイクル博士

今年で最後の「ゆるキャラグランプリ」に出場。
『リサイクル博士100プロジェクト』の名前を
付け、関係者の協力を得ながら周知を行っ
ている。投票期限は9月25日18時。
（博士への投票は [こちら](#)）

8/3 ESG投資に関する「発行体とのエンゲージメント」ページを新たに開設。

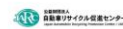
◎ 独立行政法人国際協力機構

JARCは、リサイクル料金の運用において、独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）が発行するJICA債・・・（略）。発行体とのエンゲージメント（建設的な対話）との一環として、JICAが主催して実施される・・・（略）。

自動車リサイクルデータBook2019を公表。
過去10年間に自動車リサイクルシステムに蓄積されたデータ及び関係団体等有するデータを基に、自動車リサイクルを取り巻く状況をまとめた。



News Release



自動車リサイクル促進センター
東日本高速道路株式会社
発行のソーシャルボンドに投資
～ 持続可能な社会の実現に貢献 ～

公益財団法人国際協力機構（以下、JICA）は、東日本高速道路株式会社（以下、東日本高速道路）が発行する「東日本高速道路株式会社発行のソーシャルボンド」に投資した。この投資は、持続可能な社会の実現に貢献することを目的としている。

7/10 東日本高速道路株式会社発行のソーシャルボンドに投資したタイミングで各種メディアに情報を展開。

4. 全国の地域イベントでの取り組み

今年度は全国17か所以上（昨年15か所）の地域イベントに出展し、地方公共団体と連携しながら地域ユーザーに向けた理解普及に取り組むこととしているが、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により地域イベントは次々と中止になっている。現在、地方公共団体と連携したオンラインイベントなどの代替施策を検討・準備を行うとともに、中止した地域イベントに代わる施策についても検討を進めている。

<7/20時点：出展計画と実施予定の状況>

ブロック	開催地	イベント名	開催予定	規模感(万人)	状況	備考
北海道	函館市	函館エコフェスタ	8月	0.5	中止	
東北	秋田市	あきたエコ&リサイクルフェスティバル	9月	2.2	中止	
	仙台市	エコフェスタ仙台	9月	1.2	○	オンライン
関東	東京	エコフ	11月	15.6	中止	
	横浜市	かながわエコ10フェスタ	5月	14.0	中止	
	水戸市	水戸市環境フェア	6月	1.3	中止	
北陸	金沢市	いしかわ環境フェア	8月	2.8	中止	
中部	長野市	信州環境フェア	8月	0.7	中止	
	岐阜市	岐阜市エコフェスタ	11月	1.0	○	通常開催予定
	名古屋市	環境デー-なごや中央行事	9月	14.0	○	オンライン
近畿	京都市	京都環境フェスティバル	未定	2.8	-	検討中
	津市	みえ環境フェア	12月	0.5	中止	
中国 四国	松江市	松江市環境フェスティバル	11月	0.8	中止	
	広島市	「環境の日」広島大会	6月	0.4	中止	
	松山市	松山環境フェア	10月	0.8	-	検討中
九州	福岡市	環境フェスティバルふくおか	10月	4.3	中止	
	長崎市	ながさきエコライフ・フェスタ	11月	-	○	通常開催予定
	北九州市	エコライフステージ	11月	16.0	○	オンライン
	鹿児島市	環境フェスタかごしま	10月	0.8	-	検討中
沖縄	那覇市	エコライフおきなわ	11/21	0.4	中止	

9/6仙台市、9/19名古屋市が主催するオンラインイベントから活動を行う予定。
(詳細は検討・準備中)



5. 小学生とその保護者を対象とした現場見学会

日本自動車工業会を始めとした自動車リサイクルの関係者と共に取組む小学生とその保護者を対象とした自動車リサイクルの現場見学会については、今年6回の開催（昨年4回）を予定していたが、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により関係者との調整や準備等を一時止めている。
現在、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、関係者とともに代替施策を検討・準備を進めている。

（1）実施計画

20年度は下表のとおり、自動車リサイクルの六団体の協力を得て情報発信を行うこととしている。

観点	ご協力をいただく関係団体・事業者	
自動車製造業者の取組み	日本自動車工業会	広島県の事業者
自動車販売事業者の取組み	日本自動車販売協会連合会	埼玉県の事業者
オークション会場の取組み	日本中古車販売協会連合会	新潟県の事業者
自動車整備事業者の取組み	日本自動車整備振興会連合会	北海道の事業者
解体事業者の取組み	日本自動車リサイクル機構	山形県の事業者
破砕事業者、ASR処理事業者の取組み	日本鉄リサイクル工業会	岡山県の事業者

昨年度 現場見学会の様子



トヨタ自動車(株) 様



愛媛日産自動車(株) 様



(株)オートパーツ伊地知 様



金城産業(株) 様

（2）支援メディア

入札の結果、
20年度は『毎日小学生新聞』にて情報発信を行う。

※創刊1936年、発行部数：約10万部（日刊紙）
※特徴：社会を学ぶ、受験に役立つ

毎日小学生新聞

6. 若者の関心を高める取組み

若年層の自動車リサイクルに関する認知が他年代と比べて低い傾向にあることから、自動車教習生をターゲットとした情報提供を行っている。具体的には、4月から6月までの3か月間、**約14万3千部**の運転免許学科教本に情報を掲載し、また、全国250カ所の教習所にてPR動画を**延べ11,250時間**配信した。

※新型コロナウイルス感染症の影響により一部の教習所が一時休所したものの、現在、全て稼働中。

※現在、自動車教習所で配信する次期PR動画を企画・制作中。

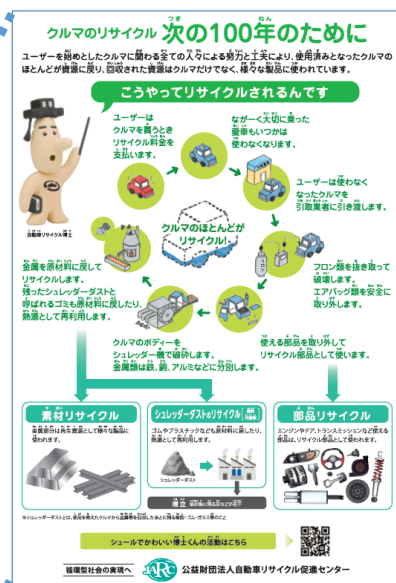
（１）運転免許学科教本に情報掲載

（２）くるくるリサイクルダンスを配信

ダンス動画を見るだけで **自動車リサイクル** が丸分かり！

＜運転免許学科教本＞掲載情報＞

自動車リサイクル博士 がダンサー 達とくるくる ダンスを踊る！



<動画のURL>

AKB48 岩立沙穂さん

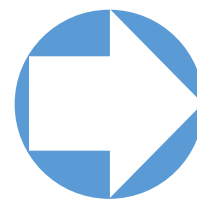
<https://www.jarc.or.jp/special/letsdance/>

7. PR動画を使った関心を得る取組み

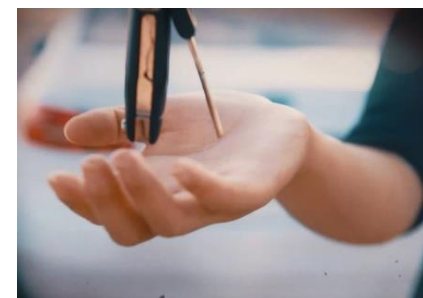
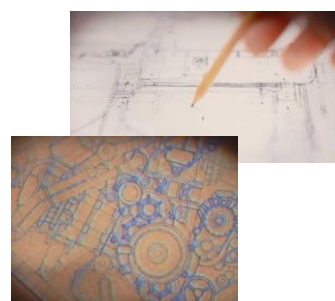
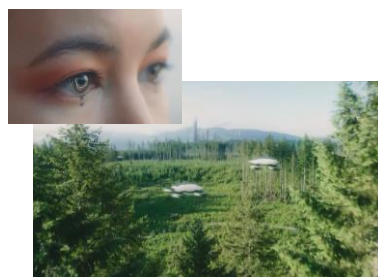
“映像”と“音”によるわかり易いメッセージの配信を通じて、ユーザーを含む国民一人ひとりの関心を得る取組みを行っている。具体的には、4月から6月までの3か月間、BSデジタル放送でPR動画を**65回配信**し、その結果**延べ3,918万世帯**の視聴者に情報を届ける取組みを行った。 ※現在、次期PR動画制作に向けて準備中。

(1) PR動画の配信 日時を固定し、特定の番組の視聴者層に向けてPR動画を配信した。

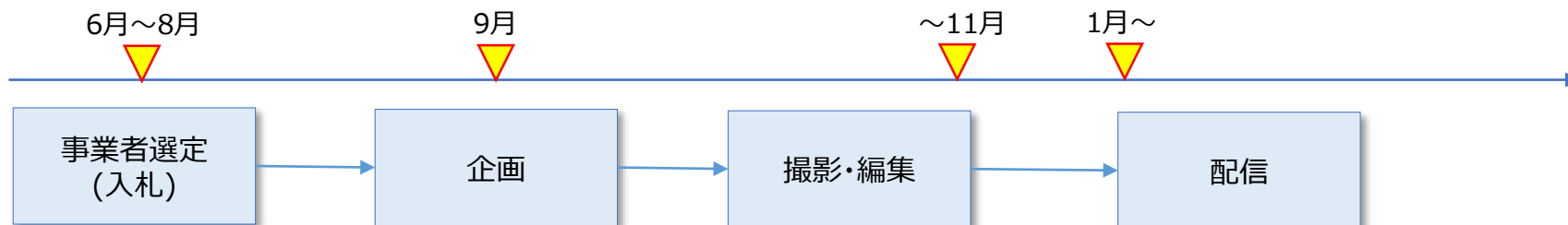
ブロック	対象世帯数 (単位：万世帯)	番組名 (チャンネル、番組時間)	配信期間	配信回数	延べ視聴世帯数 (単位：万世帯)
全国	5,653	報道1930 (BS-TBS、平日19時30分から)	4～6月 (9月末まで配信予定)	65回	3,918



* 2020年3月 BS視聴可能世帯数 (ビデオリサーチ) : 5,653.4万世帯



(2) 次期PR動画の制作・配信スケジュール



8. 活動費の執行状況（第1Q）

2020年4月から6月末（第1Q）までにユーザー理解活動に要した費用は、1,879万円（第1Q執行率：35.0%）であった。主として新型コロナウイルス感染症の影響により執行率が低くなった。

＜ユーザー理解活動に要した費用の内訳＞

（単位：万円）

#	取組の方向性	施策例	年度 計画額	第1Q		
				計画額 ①	決算額 ②	執行率 ②/①
1	全国万遍なく、環境関連イベントに出展し、自動車リサイクルの取組・成果の認知向上の機会を創出する	●自治体と共に取り組む地域イベントへの出展 ●常設展示施設での情報提供 他	5,600	1,051	77	7.3%
2	若年層に向けた情報発信を強化する	●関係者と共に取り組む現場見学会 ●クルマのリサイクル作品コンクール ●自動車教習所での情報提供	8,200	1,135	668	58.9%
3	各種メディアを活用して露出を高める	●ユーザーの関心事に応じた情報提供 ●PR映像による関心喚起に向けた情報提供	9,000	2,700	1,009	37.4%
		●ニュースリリースの積極的配信 ●その他のパブリシティ活動	0	0	0	-
4	身近なところから、ユーザー視点で分かりやすい情報へと改善を行う	●公式ウェブページ等での情報提供 ●チラシ・ポスター等の広報ツールの制作 ●自動車リサイクル実績冊子の制作【新規】	1,800	385	44	11.4%
5	自動車リサイクルの現状や実態の変化等を把握する	●ユーザーの認知状況の把握 ●各種ユーザーニーズの把握	100	100	81	81.3%
6	広報・PRの専門家を助言や支援を受けながら、質の高い情報を、効果的に発信する	●新規取組の実務支援 ●リスク低減の観点での支援 ●情報発信の効果検証 他	1,500	0	0	-
合 計			26,200	5,371	1,879	35.0%

*合計額には、人件費・管理費等を含まない。ユーザー理解活動に要した費用は特預金と繰越金から負担される。

<https://www.jarc.or.jp/>